

会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 宮島喜文

編集責任者 深澤憲治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

P1~P2 令和4年度診療報酬改定の詳細が決定

P3~P4 令和3年度 医療安全管理者養成講習会(アドバンスコース) 開催報告

P4~P6 全国「検査と健康展」2021 各地からの報告 最終回

P6 事務局からのお知らせ【年会費領収書発行】

令和4年度診療報酬改定の詳細が決定

2月9日の中央社会保険医療協議会(中医協)での答申を受け、厚生労働省は3月4日に令和4年度診療報酬改定を官報告示しました。

今回の改定率は、本体部分が+0.43%、薬価が-1.35%、材料価格-0.02%となっており、臨床検査関連については、血液採取が2点、鼻腔・咽頭拭い液採取が20点増点され、微生物検査関連も3~20点増点されました。一方、血液化学10項目以上が3点減点されなど多くの検体検査項目が減点となりました。

令和4年度診療報酬改定は、「新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築」と「安心・安全で質の高い医療の実現のための医師等の働き方改革等の推進」の2点を重点課題として、「患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現」「効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上」を改定の基本的視点と具体的方向性としています。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中での診療報酬改定となり、臨床検査関連においては検体検査の多くの項目が減点となる中、微生物学的検査の増点や新設も認められた改定となりました。

関節液検査 (新設)

50点

関節液検査については、当会からも前回から要望しており今回新設されました。結晶性関節炎の疑いがある患者に対して、偏光顕微鏡を用いた関節液の検査を実施した場合に算定できます。算定要件として、

- (1) 関節水腫を有する患者であって、結晶性関節炎が疑われる者に対して実施した場合、一連につき1回に限り算定する。
- (2) 当該検査と区分番号「D017」排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

超音波減衰法検査 (新設)

200点

脂肪性肝疾患の患者であって慢性肝炎又は肝硬変の疑いがある患者に対し、適切な診断と治療を行う観点から、超音波減衰法による肝脂肪化定量に係る評価として新設されました。算定要件として、

脂肪性肝疾患の患者であって慢性肝炎又は肝硬変の疑いがある者に対し、肝臓の脂肪量を評価した場合に、3月に1回に限り算定する。

報告書管理体制加算 (新設)

7点

医療機関の画像診断部門や病理診断部門が医療安全管理部門と連携し、画像診断報告書や病理診断報告書の確認漏れ等の対策を講じ、診断又は治療開始の遅延を防止するための体制を整備している場合に評価するよう新設され、退院時1回に限り所定点数に加算されます。施設基準として、

- (1) 放射線科又は病理診断科を標榜する保険医療機関であること。
- (2) 医療安全対策加算1又は2の施設基準に係る届出を行っている保険医療機関であること。
- (3) 画像診断管理加算2若しくは3又は病理診断管理加算1若しくは2の施設基準に係る届出を行っている保険医療機関であること。
- (4) 医療安全対策に係る研修を受けた専任の臨床検査技師又は専任の診療放射線技師等が報告書確認管理者として配置されていること。
- (5) 当該保険医療機関において、報告書確認管理者、画像診断を担当する医師、病理診断を担当する医師、医療安全管理部門の医師等から構成される報告書確認対策チームが設置されていること。
- (6) 報告書確認管理者が行う業務(報告書管理に係る企画立案、各部門との調整、各部門への支援、報告書作成から概ね2週間後に主治医等による当該報告書の確認状況の確認、未確認報告書の把握、未確認報告書のうち、医学的な対応が必要とされるものについて対応状況の確認等)
- (7) 報告書確認対策チームが行う業務(各部門における報告書管理の実施状況の評価、報告書管理のための業務改善計画書の作成、報告書管理を目的とした院内研修を少なくとも年1回程度実施、報告書管理の評価に係るカンファレンスの月1回程度開催等)
- (8) 医療事故が発生した際に適切に報告する体制を整備していることが望ましいこと。

(4)でいう研修とは、医療安全対策加算で示されている基準と同様になります。

(イ)国又は医療関係団体等が主催するものであること。

- (ロ)医療安全管理者としての業務を実施する上で必要な内容を含む通算して40時間以上のものであること。
- (ハ)講義及び具体例に基づく演習等により、医療安全の基本的知識、安全管理体制の構築、医療安全についての職員研修の企画・運営、医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価、医療事故発生時の対応、安全文化の醸成等について研修するものであること。

血液採取

静脈	35点→37点
注2 乳幼児加算	25点→30点

血液採取料は、過去3回の改定では5点増点となってきましたが、今回の改定では2点の増点に留まっています。これまで当会としても国民への安全かつ良質な医療を提供するためにも、採取手技料（技術料）並びに血液採取に必要な機器、機材、器具などの必要経費については、実費相当額を診療報酬として考慮していただきたいとして、コスト調査を踏まえて50点の要望をしてきたところです。

鼻腔・咽頭拭い液採取

5点→25点

平成28年の診療報酬改定により新設され、臨床検査技師も法改正により実施できるようになったことを踏まえて、当会においてもこれまで増点要望を行ってきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くの臨床検査技師も検体採取に携わっていると思いますが、更なる参画を進めていただきたいと考えます。

排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査

集菌塗抹法加算	32点→35点
その他のもの	61点→64点
細菌培養同定検査	
口腔、気道又は呼吸器からの検体	160点→170点
消化管からの検体	180点→190点
血液又は穿刺液	215点→220点
泌尿器又は生殖器からの検体	170点→180点
その他の部位からの検体	160点→170点
細菌薬剤感受性検査	
1菌種	170点→180点
2菌種	220点→230点
3菌種以上	280点→290点
抗酸菌分離培養（液体培地法）	280点→300点
抗酸菌分離培養（それ以外のもの）	204点→209点
抗酸菌薬剤感受性検査	380点→400点

微生物学的検査については、日本臨床検査医学会と日本臨床微生物学会と共にコスト調査を実施し、診療報酬と実際に必要とするコストの間に大きな乖離があるとして要望をしたてきたところです。要望した点数にはなりませんでしたが多くの項目で増点となりました。

血液化学検査 10項目以上	109点→106点
腫瘍マーカー 4項目以上	408点→396点
肝炎ウイルス関連検査 5項目以上	438点→425点
心筋トロポニンT	115点→112点

血液ガス分析	139点→135点
脳性Na利尿ペプチド（BNP）	136点→133点
癌胎児性抗原（CEA）	102点→99点
インフルエンザ抗原定性	139点→136点
マイコプラズマ核酸検出など	300点→291点

検体検査の項目については、衛生検査所検査料金調査から得られた実勢価格に基づき、保険償還価格と実勢価格の乖離が大きい検査については評価を見直すこととされ、多くの項目が減点となりました。

また、令和2年度診療報酬改定で経過措置が取られていたCKMB免疫阻害法については削除され、アルブミンBCG法については令和6年3月31日まで延長されました。

令和4年度診療報酬改定の詳細については、厚生労働省のHPをご確認ください。

「令和4年度診療報酬改定について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00037.html

改定に係る経緯、改定の概要や関係法令等が掲載されています。また改定説明資料の他に説明動画（YouTube）も公開されています。

当会においては、下記の通り診療報酬改定に伴う説明会を会員向けに実施いたします。

令和4年度診療報酬改定に伴う説明会

（生涯教育制度：基礎教科20点）

開催方法：日臨技Web 研修会システムより視聴
ビデオによる配信
視聴日時：令和4年3月26日（土）15時～18時
申込期間：令和4年3月15日（火）～25日（金）
申込資格：日臨技 会員
募集人数：制限ありません
受講料：無料

【内容】

挨拶

日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長 宮島喜文

令和4年度診療報酬の改定の概要について

—臨床検査を中心に—

厚生労働省保険局医療課 主査 岡嶋良典

日臨技の診療報酬点数改定要望について

—要望内容—

日本臨床衛生検査技師会 執行理事

・診療報酬委員会委員長 益田泰蔵

診療報酬改定までの経過と改定を受けての総括

日本臨床衛生検査技師会

代表理事副会長 丸田秀夫

（敬称略）

※内容・講師等について変更となる場合があります。

（執行理事 益田 泰蔵）

令和3年度 医療安全管理者養成講習会(アドバンスコース)開催報告

当会では医療安全管理者の養成を目的とした医療安全管理者養成講習会（基本コース）と基本コースを受講後3～5年の会員を対象として、より実践的な医療安全管理手法の活用方法について学ぶ医療安全管理者養成講習会（アドバンスコース）を開催しています。通常、基本コースは第1クール、第2クールで計6日間、アドバンスコースは2日間の集合研修を行っていますが、本年度は基本コースを合計34時間のオンデマンド配信による講義と8時間のライブ配信講義、アドバンスコースを7.5時間のオンデマンド配信講義と8.5時間のライブ配信による講義・実習という形式で開催いたしました。

今回はアドバンスコースの開催報告を掲載いたします。

「医療安全管理者養成講習会（アドバンスコース）の総括」

医療安全委員会 委員長 根本 誠一
副委員長 田中 夏奈

令和3年度日臨技医療安全管理者養成講習会（アドバンスコース）は新型コロナウイルス感染の状況を鑑みWeb開催（オンデマンド配信+Web実習）としました。講義コンテンツを12月1日から24日までオンデマンド配信、根本原因分析手法であるImSAFERのアドバンスコースグループワークはZoomを用いたライブ形式としました。さらに今回は「養成講習受講後の医療安全活動について」3分間のスピーチコンテンツを作成いただきオンデマンド配信コンテンツを聴講後、Zoomを用いたディスカッションに臨む新たな企画を試みました。オンデマンド配信コンテンツとして千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部 特任教授 相馬孝博先生より「医療安全は組織管理でありリーダーシップである」と題し『リーダーシップ論』について講演を賜りました。「リーダーシップとは独りで組織を引っ張り上げるものではなく組織目標達成のため個人が影響を与えるためのプロセスである。」定義そのものから「なすべきこと」について教示をいただきました。『業務の見える化』と題した講義は私（根本）が担当させていただきました。「安全は最優先、品質は安全を構築されるもの。」「業務の可視化」によって安全と品質を管理する手法を紹介させていただきました。『タスクシフティング項目のリスク管理』は日臨技医療安全委員が担当し「臨床検査技師等に関する 法改正により追加される業務」「現行制度下で医師から臨床検査技師へ タスク・シフト/シェアが可能な業務」の項目ごとに向き合わなければならぬリスクについて提示しました。正しい知識と技術が備わってタスク・シフト/シェアは形となります。理想形とするためリスクを知り、どうすべきかを考える。そのきっかけとなれば幸いです。

「受講生3分プレゼンテーション視聴後のディスカッション」は12月11日・18日に開催しました。全受講生に、職場での医療安全に係る役割、医療安全管理者を取得してからの活動内容、困っていることを3分程度で発表していただき、視聴後のディスカッションを行いました。集合研修を行っていた時は、休憩時間、情報交換会において他施設の方々と交流する時間が設けられましたが、Web研修となりその機会を得ることができませんでした。少しでも交流の場をと思い設けた企画でしたが各々が抱える思い・悩みを理解し合えた時間であったと自負しています。医療安全管理者を担っている参加者の悩みとして、「看護師など他職種の中で仕事配分をどのように決めているか。」「管理者任せでなく、医療安全推進者が主体的に取り組むためにどのようにしたらよいか。」「検査業務の中での質問として、名前確認は検査が変わるたびに何度も行っているのか、他施設ではどのように行っているのか、自施設の方法に間違いがないか。」を確認する場面もありました。ディスカッションの中で、インシデント報告を上げる過程について、受講生全員に施設の方法を発表していただき、容易に報告できる工夫など参考になるツールを知り得ることができました。情報交換会のように雑談のなかで話す雰囲気には程遠いですが、コロナ禍の研修会の中でも参加受講生全員で顔合わせをし、ディスカッションできたことは良い機会だったと思います。翌年度のオンラインディスカッションは飲み物（アルコール禁）と軽食の持込み、シンポジウムの語源のような環境で試してみようかと思っています。受講生の皆様、お疲れ様でした。

次ページでは受講者の感想を紹介します。

～ 受講者からの声 ～

医療法人医仁会 さくら総合病院 新井 一輝

2010年4月から通称リスクマネージャとして医療安全に携わってきた私は、2017年11月に基本コースを修了し、4年余り医療安全管理者（専任：医療安全対策加算2）として活動してきた。あの頃の最も印象深い講義は、河野龍太郎先生の“心理学者コフカの説明モデル”であった。心理的空間と物理的空間のミスマッチが結果的にエラーを生む。驚いた部分もあったが面白い！というのが正直な感想だ。それからはエラーなんて起きて当たり前、起こったエラーを紐解き、再発を防止すれば重大な事故を防げると自信を持った。しかし同じエラーが中々減らない、重大でないまでも事故が減らない…。そんな日常を打開すべく今回のアドバンスコースに挑んだ。新型コロナウイルス感染症の流行拡大により集合型の講習会が開催できない中、事前・事後のweb配信とZoomによるライブ配信で実施された。ライブ配信は420分という学生時代を彷彿させるスケールであったが、講師の先生をはじめ運営スタッフの行き届いた配慮で難なく終えられた。ライブ配信中のグループディスカッションでは、運営形態の異なる医療機関で活躍されている医療安全管理者方と討議ができてとても良い刺激を受けた。そんな中、今回よく考えさせられたテーマは“なぜ正しいと判断したのか”だ。人は行動するとき必ず正しいと判断して行動する、その理由を突き詰めるわけだ。単純なことに思えるそのわけが人を行動させ、結果的にエラーを生む。多種多様の背後要因から改善策を樹立し実行する。口で言うのは簡単だがその分析がまあ難しい。その難しさが人間の複雑さなのだろうと割り切って考えるしかないのか…いずれにしろ実行あるのみだ。アドバンスコース受講後、真っ先に“人は必ず正しいと判

断して行動する” “なぜ正しいと判断したのか”を全体研修で広め、まずこれを職員の心に落とし込むことが分析の第一歩ではと考えた。報告する文化・考える文化を醸成し、人が生むエラーに協同して取り組みたいところである。早く講義室での集合型研修が再開できることを願うばかりだが、アドバンスコース2の開催も期待して日々起こるエラーに挑んでいきたい。

順天堂大学医学部付属練馬病院 中村 香代子

私は、医療安全についてしっかり学ぼうと思い2017年に医療安全管理者養成講習を受講し、「医療安全管理者」の資格を取得しました。今回は、資格更新のためのアドバンスコース受講でした。コロナ禍ということもあり、Webで開催されましたが充実した内容となっていました。ImSAFER 研究会インストラクター春日先生による講義は、ベーシックのおさらいから始まりました。前回聴講した内容ですが、ヒューマンエラーのメカニズムの基本的な考え方について改めて整理することができました。実技では前回より進んだ事故の構造に基づく分析手法を学び、背後要因を探るうえで行動を起こす前には「エラーをした当事者はエラーをしたとっていない。正しいと思っている」という分析する点で重要なことを学びました。誰でもエラーを起こさないように注意しているので、「自分は正しい」と思って行動している。それをどこで正しくないと気づかせるか、またエラーを起こした後、それを拡大させないバリア構造の構築も必要なことです。自施設でもこの実習の経験を活かし、事故なく業務が行えるようにしたいと思います。

最後に、今回このような状況下で講習会を企画、開催していただいた日臨技の皆様、春日先生、根本先生に感謝申し上げます。

全国「検査と健康展」2021 各地からの報告 最終回

大阪府

今回の全国「検査と健康展」in大阪は2部構成で実施しました。第1部では、昨年の「検査と健康展」で作成した動画を再編集しアップグレードしたものと、新たに作成した動画をそれぞれホームページに掲載しWeb配信で実施しました。内容は、①臨床検査技師のお仕事紹介、②顕微鏡で見たミクロの世界、③養成校の紹介、④健康チェック体験、そして新たに作成した、⑤コロナウイルスのPCR検査、についての動画で、主に高校生や府民の皆様に臨床検査技師を紹



介する内容で作成しました。第2部では、府民を対象とした会場での開催と講演の収録を行い、収録した動画は後日配信を予定しております。当日は2名の講師の方より、技師の立場から「新型コロナウイルス検査の実際」、医師の立場から「診療経験から得られた臨床検査の意義」をテーマにご講演いただきました。広報は第6波の影響を考慮し会場周辺の地域のみで行ったところ2名の参加があり、講演会のあとは物忘れチェックの体験や検査相談をされる方もおられました。参加者は多くはありませんが、会場開催を再開できたことはアフターコロナへの第1歩になったと考えます。講演の最後には「臨床検査なくして適切な診断・治療は行えません」とのお言葉を講師の先生より

いただき、我々技師の励みとなり、府民の皆様への認知度向上につながったことと思います。

最後に、感染症の蔓延により困難な状況は続きますが、今後とも会員や府民の皆様には有益な情報をご提供できるよう努めてまいりたいと考えております。

(大阪府臨床検査技師会 五十里 大介)

兵庫県

例年の兵庫県開催の「検査と健康展」では、頸動脈エコー、ヘモグロビン簡易測定、血管年齢簡易測定、体組成測定、認知症チェックと対面での検査を実施していました、2020年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年は「検査と健康展」は中止となりました。今年も未だ新型コロナウイルスの感染が収束せず、対面での実施はできませんでしたが、兵庫県臨床検査技師会として、『健康づくり、健康診断の重要性を伝え、国民の健康意識の高揚を図る』ことを目的とした「検査と健康展」を開催したいと考え、Web開催を決定しました。中止、またはWebでの開催かの検討、動画内容の検討、作成と時間がない中で実行しましたが、健康意識の高揚のために技師会として伝えたいことをWeb上で伝える方法も1つであると感じました。

(兵庫県臨床検査技師会 澁谷 雪子)



鳥取県

本年度は当初商業施設での現地開催の方向で企画していましたが、新型コロナの影響で商業施設スペースを借りることができず、鳥取県臨床検査技師会ホームページを活用したWeb開催となりました。当技師会では初の試みであり、手探りの中準備を進めていましたが、多くの協力が得られ無事開催することができました。

特設サイト内では各分野の検査風景や認知症セルフチェックといった動画を公開し、臨床検査技師の認知度を上げることや認知症チェックを行うことにより認知症早期発見の一助となったことと思います。

次年度はまだどのような状況になるか不透明ですが、少しでも地域の皆様に貢献できる企画を考えていきたいと思っています。

(鳥取県臨床検査技師会 岩田 和宏)

愛媛県

愛媛県臨床検査技師会では、令和3年12月4日(土)・5日(日)の2日間に、フジ株式会社において「検査と健康展」健康フェスタ2021をエミフルMASAKIの1階グリーンコートを貸し切り開催いたしました。

一般市民を対象に健康増進と生活習慣病予防に関する啓発、そして臨床検査技師のことをより知っていただくことを目的に、エミフルMASAKIを行き交う人に声をかけながら健康チェックを勧めました。健康チェックでは検査機器6台(インボディ・手洗いチェッカー・物忘れ・脳健康・肌年齢・ストレス)による測定を実施し、また1日2回の健康講演3題(感染防止・糖尿病・脳トレ体操)も実施し、2日間で計1,243名の体験及び参加がありました。

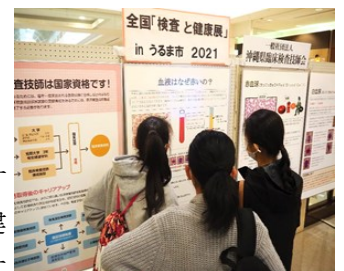
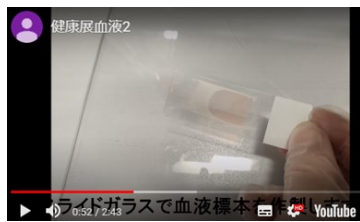
イベント中は常に感染防止策を講じ、常に5名程度が待機しており、インボディや肌年齢の検査は人気で待ち時間が出るほどの大盛況で、あらためて健康への関心の強さを実感いたしました。来場された方々には、検査の待ち時間を利用して糖尿病や生活習慣病・認知症等の予防のお話、臨床検査についてのパンフレットを見せて、臨床検査技師についても知っておいただく良い機会となりました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大により中止となり、今年度も天候や来場者の心配をしていますが、全くその心配の必要もなく、会場のホームページの宣伝効果もあり、このイベントを楽しみにして来場される方もいらっしゃり、継続して開催できればと思いました。技師の対応も良く説明等も熱心に聞いておられ、帰る際は丁寧に礼を言って帰る方が多かったです。臨床検査技師の知名度はまだ低く、特に業務内容までは知らないとの意見が多い現状で、こうしたイベントを通じて広く知っていただく良い機会となっていると思いました。

(愛媛県臨床検査技師会 石村 悦哉)

沖縄県

年の暮れにあたる令和3年12月19日(日)に、イオン具志川店にて「検査と健康展」を2年ぶりに開催することができました。新型コロナウイルス感染症が



だ完全に収束している状況ではないため、密にならないように万全な感染対策を立てての開催となりました。例年のように一般の方々への顕微鏡、エコー体験、そして骨密度測定を行うことができなかったことは、非常に残念でありました。今回は「臨床検査技師のお仕事」というテーマで、作成したパネル20枚を展示し、来場者には日臨技からの検査関連の資料に加え、約200人の子供たちに文具類を同時に配布いたしました。当日は、9名の沖臨技理事でパネルの説明等を行い、中にはパネルを見ながら熱心に質問する子供や保護者も見受けられました。また、当会の山内恵理事（琉球大学病院技師長）には、「検査と健康展」の開催に先立って、令和3年11月28日（日）14：00～16：30で開催された中学・高校生とその保護者向け

『美ら夢サイエンスプロジェクトfor琉球リケジョ「命を救う！守る！いっしょに考えよう！医療職への道』で講演を行っていただきました。中高生に臨床検査技師の職業に興味を持ってもらえるように、面白さや遣り甲斐を分かりやすく説明した講演と、また会場に現地参加された中高生約100人には日臨技の検査関連の資料の配布を行っていただきました。

沖縄県臨床検査技師会は、今後もこのような企画を介して、臨床検査技師の認知度向上及び人材発掘に寄与していきたいと思えます。

（沖縄県臨床検査技師会 安里 光宏）

事務局からのお知らせ

■令和4年度年会費の領収書は会員専用ページから発行できます

- ・2月28日に口座振替が完了された方は、会員専用ページから領収書の発行ができます。
- ・初年度の年会費としてお支払いいただいた方は、会員証がお手元に届いた段階(4月1日以降)で発行が可能となります。

The image shows a screenshot of the JAMT Member's Site. On the left is the '日臨技会員メニュー' (JAMT Member Menu) with a red box around '会費 請求書/領収書'. A red arrow points from this menu item to the '会費領収書' link on the '会員情報確認' page. The '会費領収書' page has a form with fields for '発行日' (Issue Date), '会費年度' (Fee Year), '宛名' (Recipient Name), and '内訳' (Details). The '発行' (Issue) button is highlighted with a red box. A speech bubble points to the '発行' button with the text '入力が済んだらここをクリック!!'.

※発行日・宛名を変更、入力することができます。

※複数回発行する場合は領収書に再発行と表示されます。必ず入力内容を確認のうえ発行してください。

※残高不足等で口座振替ができずに3月28日に再振替される方、口座解約等で振替ができず払込票でお支払いいただく方は、お支払から1週間前後で領収書発行が可能となります。

（編集後記）今回で全国「検査と健康展」の報告は最終回です。昨年11月ごろを中心に開催したもので比較的に感染拡大が下火になっている中で、中央会場は宮崎県臨床検査技師会にお願いし、地方開催として21府県の臨床検査技師会にご担当いただきました。Withコロナの中で様々な対応をしながらご苦労いただいたことと思います。ご対応いただいた22府県技師会に感謝するとともに、来年度こそ、私たちが行っている臨床検査と臨床検査技師の啓発活動が何の障害もなく開催できる日が来ることを待ち望んでおります。疫病退散！！

（深澤）